

仕事の中に「感動」を！（29）

～ お父さん いつもありがとう ～

◇娘の作文

私には、小学校3年生の長女美空（みそら）と3歳の長男克樹（かつき）の2人の子どもがいます。この前の夏休みの宿題で、美空が作文を書いていた。

以下はその作文です。

『お父さん いつもありがとう』

三年一組 岡武 美空

わたしのお父さんは、ほけんの仕事をしています。毎日、いそがしそうで、土曜日でも日曜日でも仕事をしているときがあります。朝は8時すぎに家を出て、夜は早いときは6時30分ぐらいで、おそいときはわたしがねてから帰ってくるときがあります。だけど、いつも朝の3時30分ぐらいに起きて、運動をしたり、仕事をしたりしているので、ねむくならないのかなと思います。

「なぜ、そんなに仕事をがんばられるの？」と聞いたら、「仕事をがんばるとお客さんがよろこんでくれるのがうれしいし、仕事がすぐたのしい。それに早くかえって、みんなに会いたいから、仕事をがんばるんだよ。」とっていました。

でもわたしは、はやくかえってきて毎日いっしょにすごしたり、いろんなところにあそびに行ったりしたいな、と思っています。

お父さんが仕事をがんばりすぎて体をこわしたり、びょうきになったりしたら大変だから、仕事をがんばりすぎないでください。

お父さん、いつも仕事をがんばってくれてありがとう。いつもわたしはお母さんと弟といっしょにかんしゃしています。これからも仕事をがんばってください。おうえんしています。

◇家族の思い、家族への思い

私はこの作文を見て、とても幸せな気持ちになりました。娘が私の仕事に対する思いを知ってくれているということ、また私の健康を気遣ってくれていることが分かり、本当にうれしく感じました。こうした家族の思いや支えがあつてこそ、私自身が仕事にまい進できるのだと実感しました。

また、『O S S』のお客様にも、お客様のことを大切に思っておられる方々がいらっしゃるのだ」という事実にも、思いを馳せることができました。

最後に私から娘への返事です。

「美空、うれしい作文をありがとう。お父さんは、健康には十分気をつけながら、仕事をがんばります。早くお家に帰った時や仕事がお休みの日には、一緒にいっぱい遊ぼうね！」

(保険のO S S 所長 <http://www.oss-ins.jp>)